



博物館だより

No. 218 2013. 6

ミニミニマインズ

平成 25 年度 第 1 回 鉱業博物館市民向け開放講座 人工結晶が生み出す科学の光とエネルギー

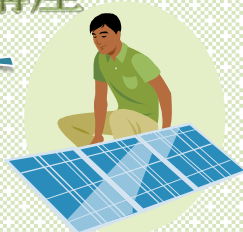
講師：佐藤 祐一 研究員

平成 25 年 6 月 13 日（木）、当館 3 階講堂にて第 1 回 鉱業博物館市民向け開放講座が開催されました。第 1 回の講師は博物館研究員、秋田大学工学資源学研究科（電気電子工学専攻）の佐藤祐一先生でした。

今回の講演は、現代の電子産業技術を支える人工結晶とそれらが応用されている発光ダイオードや太陽電池についてお話をいただきました。再生可能エネルギーとして期待される太陽光発電業界の展望や、人工結晶が私たちの身の回りのどのような所で使われているのかなどを説明していただきました。身近な例を挙げての解説はわかりやすく興味深い内容でした。

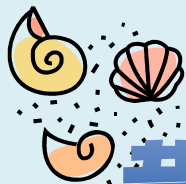


講演をする
佐藤祐一先生



聴講する参加者の皆さん

平成 25 年度ジュニアサイエンススクール



地層と化石から

昔のできごとを考えよう！

～貝化石の採集と標本作り～



平成 25 年 8 月 3 日（土）・8 月 4 日（日）

- 対象 小学 6 年生
(朝 8 時半までに博物館へ集合できる方・2 日間参加できる方)
- 募集人数 20 名まで
- 参加費 無料(昼食のみ持参してください)
- 講師 渡部 晟(秋田地学教育学会)
西川 治(秋田大学附属鉱業博物館専任教員)

- 申込方法 電話でのみ申し込みを受け付けします
7 月 5 日(金)～7 月 11 日(木) 10:30～16:00 <土・日を除く>
上記の間に鉱業博物館事務室(018-889-2461)へご連絡ください。
※参加決定者には後日詳細をお知らせいたします※

- | | |
|--------------------|---|
| 1 日目
8 月 3 日(土) | 地層の観察と化石採集
バスでフィールドまで移動
(日帰り・行き先は当日のお楽しみ) |
| 2 日目
8 月 4 日(日) | 標本整理と学習会
鉱業博物館 3 階講堂 |

先着順に参加決定しますので、お早めにお申し込みください！

鉱業博物館無料開放！

～秋田大学オープンキャンパス～

★平成 25 年 7 月 27 日(土) 9:00～16:00

秋田大学オープンキャンパスの日は鉱業博物館を終日無料開放致します。ご家族やお友達を誘ってぜひおいでください。

標本紹介：黒鉱

黒鉱とは、日本海側の鉱山で採掘される酸性火山の活動によって海底に堆積してできた塊状硫化物です。銅・亜鉛・鉛などのベースメタルをはじめ、レアメタルも含んでいる貴重な資源です。秋田では、大館-小坂の北鹿(ほくろく)地域に多く分布しており、特に花岡鉱山、小坂鉱山は日本の代表的な黒鉱鉱山でした。しかし、採算性の問題から徐々に採鉱は減少しました。1994年の花岡鉱山の閉山を最後に国内のすべての黒鉱鉱山は姿を消しました。



博物館ではさまざまな種類の黒鉱を展示しています。左写真の黒鉱は秋田県小坂町産、重さは1.4tもあります。

黒鉱好評展示中!!

鉱業博物館では、より身近に標本を鑑賞していただけるよう、インフォメーションセンター(手形キャンパス内)にて標本を展示しています。

展示標本は3ヶ月ごとに更新されます。今月から黒鉱を見ることができます。



照明にこだわっています!



インフォメーションセンター
開館時間: 10:30~17:00
休館日: 土・日曜日、祝日



由利高校の皆さんが見学に来ました!!

6月6日(木)、この日は由利高校の2年生約40人が、大学訪問の一環として博物館を訪れました。博物館では小笠原正剛先生(環境応用化学専攻)による講義が行われ、生徒の皆さんは熱心に話を聞いていました。

鉱業博物館には毎年多くの団体が訪れます。小・中・高校をはじめ、ツアーの一環として、町内会やPTAの集まりとして、研修のプログラムとして様々な用途で利用されています。県内はもちろん隣県や、韓国をはじめ遠く外国からのお客様も訪れています。

リニューアルから1年半、新しい展示物も加わり、ますます見どころが増えた鉱業博物館へ皆さんぜひいらしてください!



サイエンスボランティア講習会

第4回 秋田の鉱山開発と古銭製造について

5月30日(木)に第4回ボランティア講習会が開かれました。今回は西洋のコインと秋田藩の貨幣を例に、その成分から読み取れることを、今井忠男鉱業博物館主事が講義しました。サイエンスボランティアの皆さんも真剣に講習を受けていました。



今井忠男
鉱業博物館主事



編集後記



ミニミニマイズ6月号の作成は、博物館実習生が担当しました。今回のミニミニマイズ作成では資料の収集を通して班員それぞれが様々なことを学び成長することができました。真っ白な型紙からスタートした時は本当に完成させることができるのだろうかと不安な気持ちでいっぱいでしたが班員で協力し鉱業博物館の職員に助けられ無事仕上げることができました。このミニミニマイズが皆様にとって鉱業博物館への興味関心のきっかけとなれば幸いです。

2班 木村・佐藤・照井・安田・渡部

